

中間とりまとめ案に対する意見と対応状況

	御意見	対応状況
	現状と課題について	
1	<p>①課題に鳥獣対策や湿原の乾燥化対策など、自然保護の観点も追加すべき。</p> <p>②日帰りが多い原因などをニーズ調査から掘り下げていくことが必要。</p>	<p>①1-(3)-イに自然環境保護に関する文言を追記(p12)</p> <p>②プログラムへは追記しないが、今後実施する調査の項目に反映</p>
	コンセプトについて	
2	<p>①日光国立公園の売り、他の国立公園との違いを踏まえて作成すべき。</p> <p>②リピーター確保の視点を入れてほしい。</p> <p>③誰が聞いてもわかりやすいものにしてほしい。</p> <p>④東京から近いという視点を入れるべき。</p> <p>⑤歴史・文化・上質さという観点が必要。</p> <p>⇒コンセプトはキャッチフレーズではなく、国立公園の魅力を一言で表し、認識を共有するための基本概念。宣伝用のキャッチフレーズは別途検討する。</p>	<p>各位からの意見も踏まえ、キャッチフレーズではなく基本概念として2-(1)で設定(p13)</p> <p>リピーター確保については、コンセプトの中ではなく、5-(4)-イ(B)-Ⅲの宣伝の方針の中で記載(p31)</p>
	目標について	
3	<p>①宿泊者数25万人という目標は、キャパシティを踏まえた設定になっているか。</p>	別紙参考資料参照
	プロジェクトの実施について	
4	<p>①宿泊者増加に向け、夜のメニューの充実を盛り込んでどうか。</p> <p>②外国人観光客誘客には、国立公園エリア外との連携も重要になるのでは。</p> <p>③宣伝には、情報のプラットフォームとなるホームページでの発信が重要。</p> <p>④SNSでの口コミ発信も促進していくべき。</p>	<p>①5-(2)-イに追記(p18)</p> <p>②5-(4)-イ(B)-Ⅱに追記(p31)</p> <p>③5-(4)-イ(B)-Ⅰに記載(p31)</p> <p>④5-(4)-イ(B)-Ⅲに追記(p31)</p>

日光国立公園周辺宿泊施設稼働状況

1. 繁忙期の稼働状況

＜旅行会社(JTB)所感＞

繁忙期:5月連休、夏休み期間、10月～11月半ば、年末年始

⇒施設によるが、稼働率はおおよそ80～100%程度で推移

※特に土日祝日に宿泊者が集中

★稼働率80%とすると、旅館業法登録施設ベース(※1)で、
月間45万人程度の空きがある。

※1:旅館業法上の登録施設の収容人数から算出

⇒企業・大学の保養所や休業中の旅館等も含むため、実際の収容人数より多い値となっている。

＜参考＞最繁忙期の8月の稼働率を80%とした場合の宿泊者数ベース(※2)での試算

宿泊者数:906,443人 ⇒空き:約23万人

$906,443 \div 0.8 \times 0.2 = 226,610$

※2:栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果から算出

⇒企業・大学の保養所や休業中の旅館等も含むため、実際の収容人数より多い値となっている。

2. 閑散期の稼働状況

＜旅行会社(JTB)所感＞

閑散期:年末年始を除く冬季(12月～翌4月)

⇒施設によるが、稼働率はおおよそ20～30%程度で推移

※特に平日は宿泊者が少ない

★稼働率30%とすると、旅館業法登録施設ベース(※)で、
月間170万人程度の空きがある。

＜参考＞最閑散期の2月の稼働率を30%とした場合の宿泊者数ベース(※2)での試算

宿泊者数:326,285人 ⇒空き:約76万人

$326,285 \div 0.3 \times 0.7 = 761,331$

⇒閑散期(特に平日)を中心に外国人観光客を誘客していくことで、繁閑の平準化につなげていく。